

日立横浜事業所（戸塚区：11回目）

☆分別排出の徹底【要件1】

- ・個人ごとのごみ箱を廃止し、フロア毎に共有のごみ分別BOXを設置。ごみ分別BOXの前にはイラスト入りの廃棄物分別表を掲示するとともに、英文を併記し外国人従業員にごみ分別がわかるようにしています。

☆従業員への環境教育の実施【要件2】

- ・グループ会社の環境管理担当者を集め、廃棄物処理の対応、各種法改正等の環境情報の共有、教育を行い、事業所内へ情報展開しています。
- ・ごみ分別に対する意識を更に深めるため、ごみ分別教育動画を制作し事業所ホームページにて公開しています。

☆発生抑制の推進【要件6】

- ・各種コミュニケーションツールを活用した New Normal でのリモートワークを推進し、事務所における一般ごみ、印刷物(紙)の発生抑制を図っています。
- ・照明を耐用年数の長いLED照明に更新することで、水銀使用製品廃棄物(廃蛍光灯・廃水銀灯)の発生抑制を図っています。

☆再資源化の推進【要件3】

- ・使用済みトナーカートリッジを回収し、まとめてメーカーへ引き渡しています。

☆資源回収の推進【要件5】

- ・(一社)JBRCに小型充電式電池の排出協力事業者登録を行い、事業所内およびグループ会社より回収した小型充電式電池を引き渡しています。

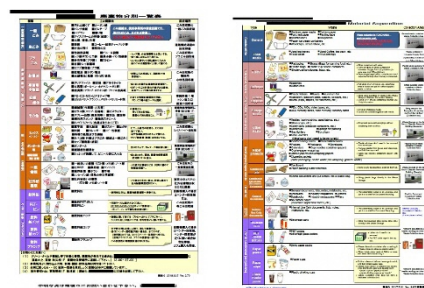
☆社会貢献活動等【要件11】

- ・ペットボトルキャップを回収し、毎月NPO法人を介して「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に収益を寄付する「エコキャップ運動」に参加しています。
- ・定期的に戸塚駅から事業所までの通勤路、および事業所周辺道路の清掃を実施しています。
- ・近隣小学校に出向き、3R取組内容、清掃活動、生態系保全活動等の環境活動紹介を行っています。(新型コロナの影響により活動休止中)

ごみ分別BOX



廃棄物分別表(日本語版・英語版)



ごみ分別教育動画



LED照明化による廃蛍光灯発生抑制



コミュニケーションツール活用による印刷物発生抑制



小型充電式電池の回収



ペットボトルキャップの回収



事業所周辺道路清掃

